

2

意匠と特許の技術的關係

技術開発とデザインを結びつける活動は、企業活動を戦略的に進める上で非常に重要なことである。本項では、特許出願と意匠登録出願の出願動向を分析し比較することで、技術開発とデザイン開発の関連性を検討する。これらの情報は、技術開発とデザイン開発の流れや方向性のみならず、今後における研究開発の道筋を導く上でも参考となる情報である。

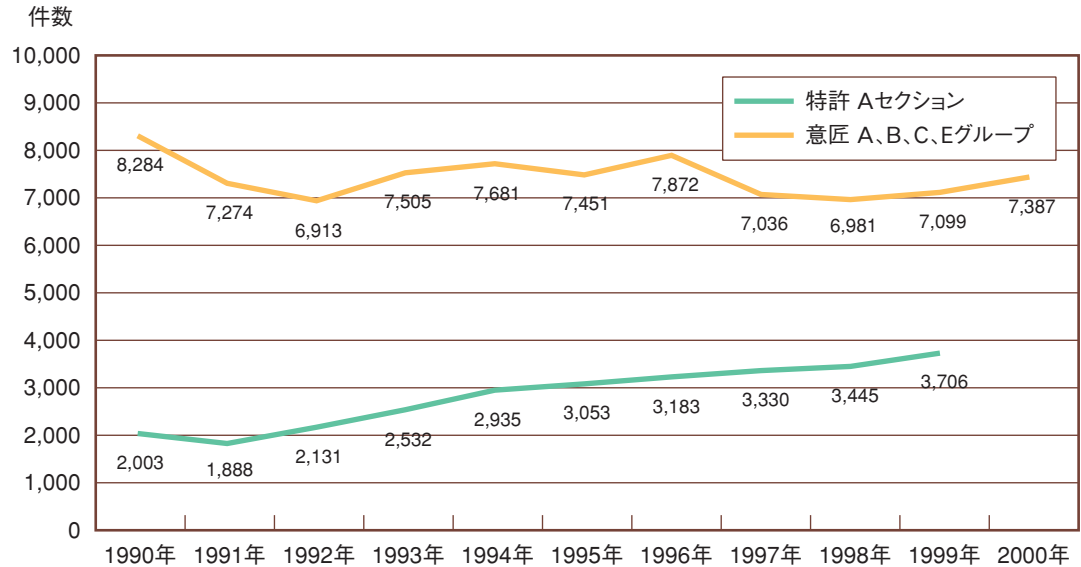
特にライフサイクルが短い製品については、技術革新が早い場合もあるが、市場におけるニーズに応えるためにデザイン開発が活発に行われデザイン開発が技術開発を先導しているようなケースもあるため、技術開発のみならず、デザイン開発の動向を詳細に調査することで、技術とデザインのつながりがより浮き彫りになる。

技術とデザインの関係は、①技術開発が先行し、それを追うようにデザイン開発が追随するテクノロジープッシュ型の分野、②市場ニーズに合わせてデザイン開発が先行し、技術開発が追随するマーケットプル型の分野、③技術開発とデザイン開発が同時進行で行われ、その相乗効果が見られる分野の3つに大別でき、それぞれの技術分野がどのような状況であるかを特許出願と意匠登録出願の関係から客観的に判断した。

以下に、特許の技術分野に相当すると考えられる意匠物品分野（日本意匠分類）を当てはめ、出願動向の分析を行った。なお、特許の技術分野と意匠分類とは必ずしも一致するものではないが、ある技術分野の技術に基づいて創作されると思われる製品の意匠分類を当てはめて分析している。

(注意) 特許の技術分野のCセクション（化学；冶金）については、製品の形状につながる技術が少ないため、該当する意匠分野はないと判断した。

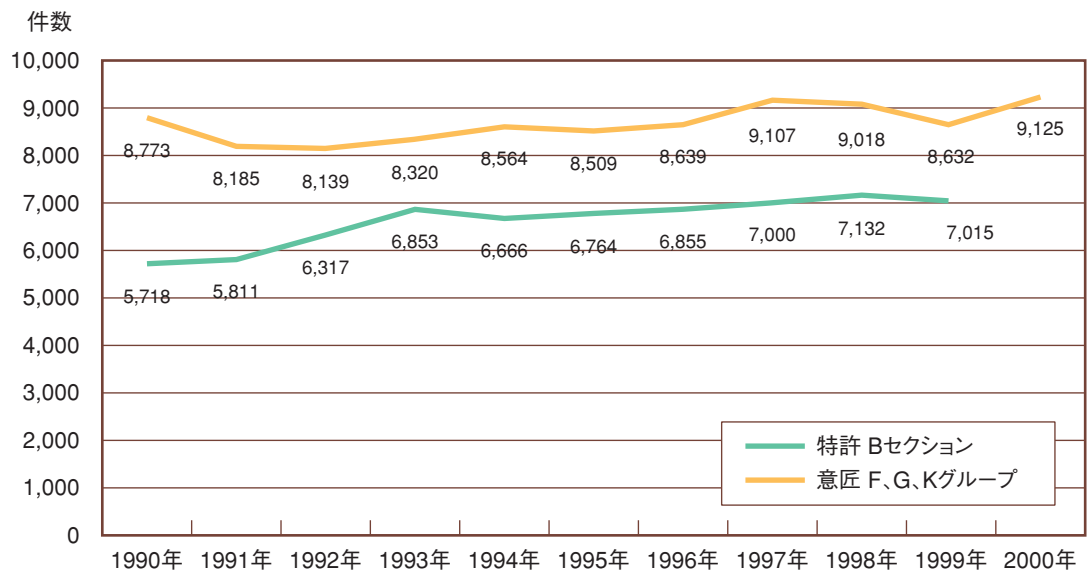
生活必需品



(注意) 特許の出願件数は意匠の出願件数との比較を明確にするために1/10にした件数をグラフに使用している。

「生活必需品」の技術分野では、特許の出願件数は緩やかに伸びているものの、意匠登録出願件数は大きな変動なく安定していると言える。この分野は製品の市場成熟度が比較的高く、毎年一定数の新製品開発が行われていることがうかがえるが、従来技術に基づく短ライフサイクル型デザインの開発と、新技術に基づく高機能型製品のデザイン開発が混在している分野とすることができる。

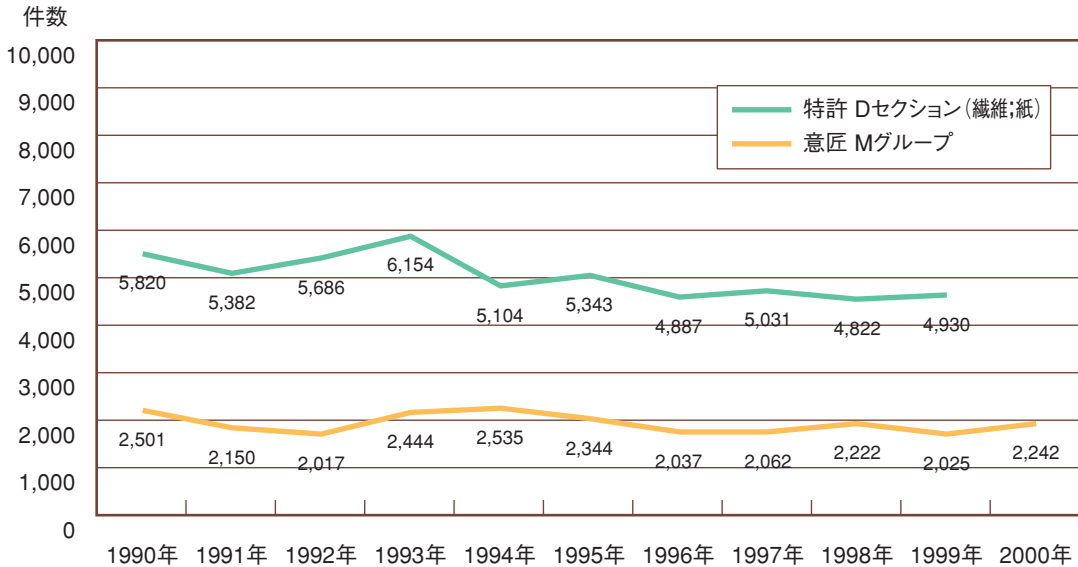
処理操作；運輸



(注意) 特許の出願件数は意匠の出願件数との比較を明確にするために1/10にした件数をグラフに使用している。

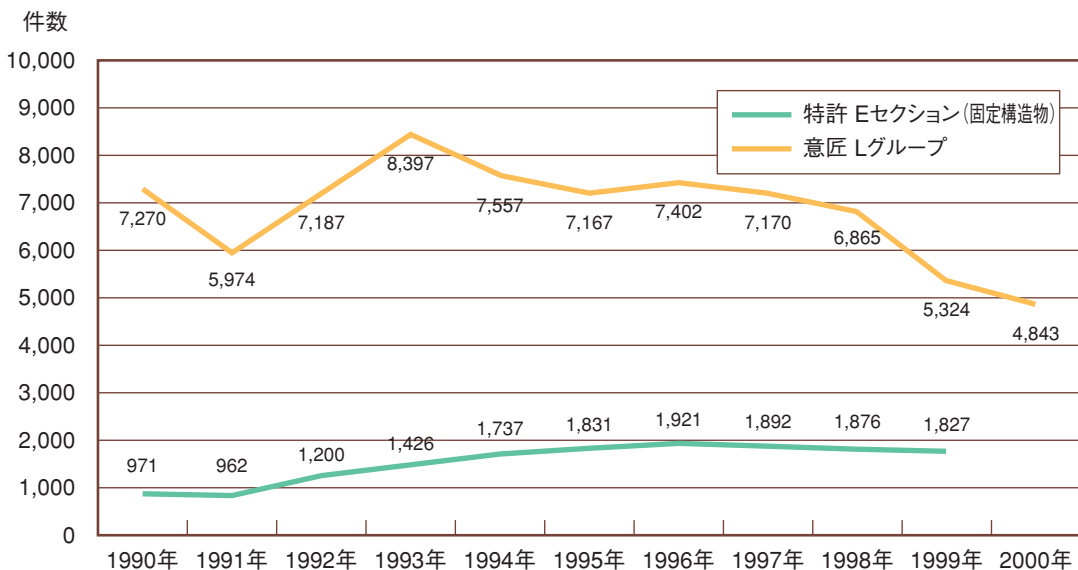
「処理操作；運輸」の技術分野では、特許と意匠の出願件数は同じような伸びを見せており、各年の出願件数の増減も似かよった動きを見せている。このことから、この分野においては技術開発とデザイン開発の関連性がかなり高いと言え、技術開発がデザイン開発に直結していることがうかがえる。また、出願件数の増減のずれが各年であまり起こっていないため、技術開発とデザイン開発の時期がずれていないことも推測できる。

繊維；紙



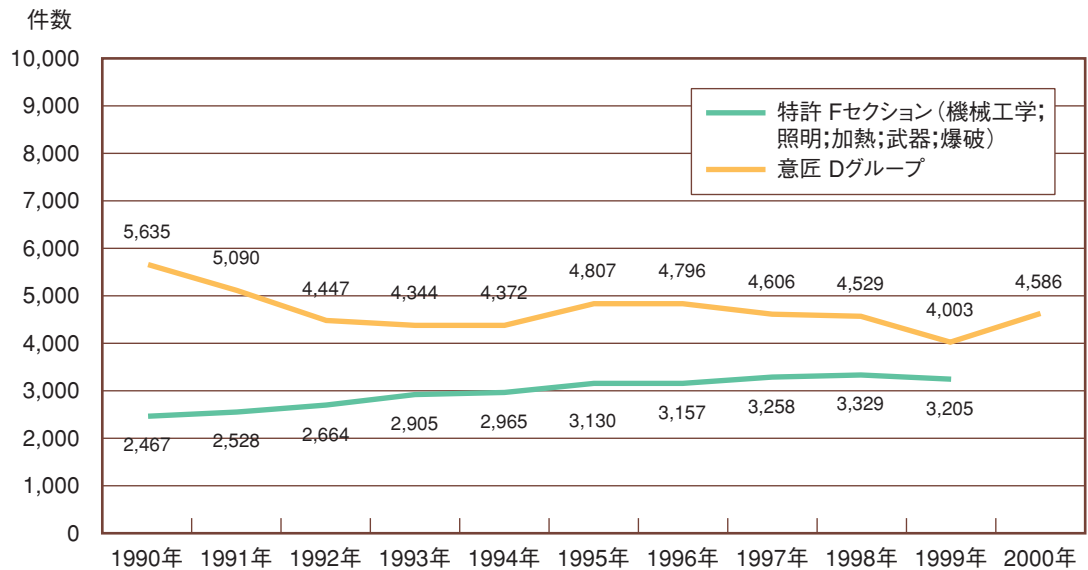
「繊維；紙」の技術分野では、特許と意匠の出願件数は同じような増減の傾向を見せており、この分野においては、技術開発とデザイン開発が密接な関係にあると推測される。

固定構造物



「固定構造物」の技術分野では特許の出願件数は近年安定しており、増減はほとんど見られない。これに対して、意匠登録出願はここ数年における件数の落ち込みが激しい。このことから、この分野においては技術開発は安定的に行われているが、デザイン開発は現在低迷期にあるとすることができる。また、この分野では、特許と意匠の出願件数から判断するに技術開発とデザイン開発との相互の関連性が弱く、技術開発がデザイン開発に直接結びついていないものと推測される。

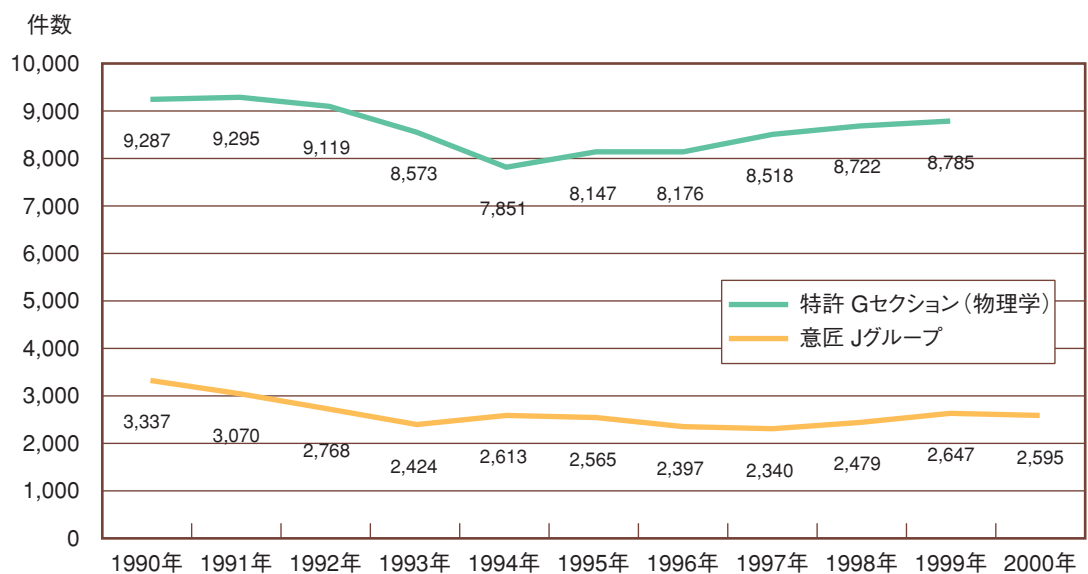
機械工学；照明；加熱；武器；爆破



(注意) 特許の出願件数は意匠の出願件数との比較を明確にするために1/10にした件数をグラフに使用している。

「機械工学；照明；加熱；武器；爆破」の技術分野では、特許の出願件数は近年安定しており、増減はほとんど見られない。一方、意匠登録出願件数についても大きな変動はないが、数年おきに増減を繰り返す形となっている。このことから、この分野においては技術開発とデザイン開発とが直接結びついているとは考えにくく、市場ニーズを反映した自由度の高いデザイン開発が積極的に行われているものと推測される。

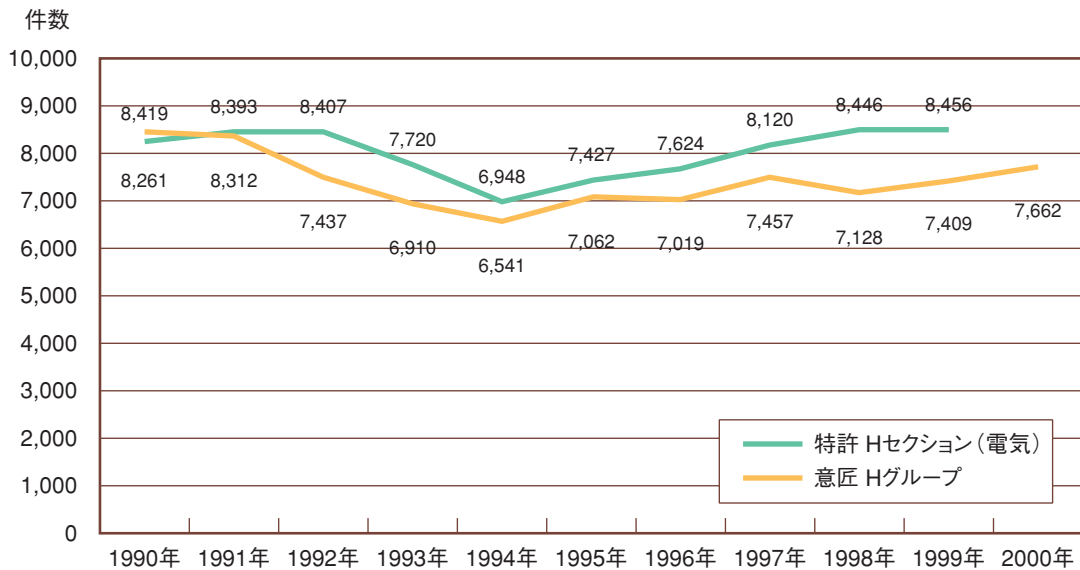
物理学



(注意) 特許の出願件数は意匠の出願件数との比較を明確にするために1/10にした件数をグラフに使用している。

「物理学」の技術分野では、特許と意匠の出願件数の動きは比較的類似した傾向を見せている。一方、各年の出願件数の増減を見ると、意匠登録出願は特許出願よりも1年早い動きを示していることがうかがえる。このことから、この分野では技術開発とデザイン開発との相関関係が高く、技術開発に先行してデザイン開発が行われているものと推測される。

電気



(注意) 特許の出願件数は意匠の出願件数との比較を明確にするために1/10にした件数をグラフに使用している。

「電気」の技術分野では、特許と意匠の出願件数は近年同じような伸びを見せており、出願件数の増減も全体として似かよった動きを見せている。このことから、この分野では技術開発とデザイン開発の関連性が高いたいことができ、新しい技術の開発が新製品のデザイン開発に直接的に結びついていることがうかがえる。また、出願件数の増減のずれが各年であまり起こっていないため、技術開発とデザイン開発とが時期を同じくして行われているものと推測される。